

## ▶ 株式の状況

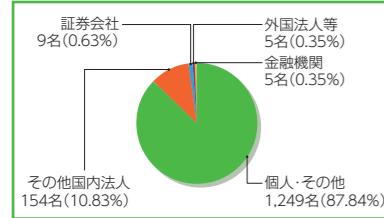
1) 発行可能株式総数	2,175,000株
2) 発行済株式の総数	934,999株
3) 株主数	1,422名

## ● 大株主 (上位10名)

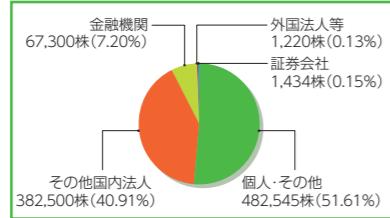
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 イズミ	185,200	19.81
佐竹睦子	92,500	9.89
マルヨシセンター取引先持株会	84,400	9.03
有限会社 佐竹興産	49,900	5.34
株式会社 百十四銀行	33,200	3.55
株式会社 阿波銀行	32,200	3.44
佐竹克彦	26,400	2.82
マルヨシセンター従業員持株会	18,239	1.95
ロージー美佳	17,000	1.82
黒田真由美	11,400	1.22

(注) 持株比率は自己株式(151株)を控除して計算しております。

## ● 所有者別株主分布状況



## ● 所有者別株式分布状況



## ▶ 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定期株主総会	毎年5月
基準日	定期株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 每年8月31日(中間配当を行う場合) (その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) <a href="http://www2.maruyoshi-center.co.jp/">http://www2.maruyoshi-center.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることのできない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所市場 (ご注意)	東京証券取引所 スタンダード市場

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設している口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設している証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 環境方針

- 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいます。
- 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- この方針は、社内外全般に公表します。

## ▶ 会社概要

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	1961年3月
本店の所在地	香川県高松市国分寺町国分367番地1
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット34店舗 レストラン1店舗
従業員数	395名 (ほか、パートタイマー1,019名 [8時間換算])

## ▶ 取締役・監査役

代表取締役会長 CEO	佐竹克彦
代表取締役社長 COO 兼 CFO	加藤宏道
取締役副社長兼CFO CMO 兼 CIO	伊藤雅久
取締役	田村勉
取締役	大下秀樹
常任監査役	大西敏広
監査役	川村次郎
監査役	川田和也
監査役	三宅康夫

(注) 大下秀樹は社外取締役、川村次郎および三宅康夫は社外監査役であります。

## ▶ 会計監査人

太陽有限責任監査法人

## マルヨシセンターホームページ



マルヨシセンターに関する情報は、ホームページでご覧いただけます。

<http://www2.maruyoshi-center.co.jp/>

## MARUYOSHI SUPER REPORT

## 第66期 中間報告書

2025年3月1日 ▶ 2025年8月31日

## MARUYOSHI CENTER

## 株主の皆さまへ

地域の皆さまの食生活をより豊かに、楽しく、便利にする  
ライフスタイル提案型スーパーマーケットを目指します。

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援をたまわり、誠に有難く厚く御礼申しあげます。  
ここに、当社グループ第66期中間連結会計期間(2025年3月1日から2025年8月31日まで)の事業の概要と  
決算につきましてご報告申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、インバウンド需要や企業の堅調な設備投資等により一部では回復の兆しが見られますが、米国の関税政策による世界情勢への影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いているとあります。

個人消費につきましては、消費支出は増加の兆しがあるものの、継続する物価上昇の影響で依然として消費マインドは低調に推移しております。

小売業界におきましても、物価上昇による将来への不安による購買意欲の低下、労働需要の逼迫に伴う人件費・関連コストの増加、エネルギー価格の高騰に伴う光熱費や運賃等の経費の増加など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況の中、当社では、「個店の力/競争力」を引き上げることによる各地域でのシェア拡大を経営戦略とし、その目的達成のために、更なる「マルヨシクオリティー」の向上を目指し、これまでの「お客様中心」の接客サービスの強化や「健康とおいしさ」をキーワードとした生鮮商品の差別化、「味Gメン」による味と品質のチェックの施策の継続に加え、お客様が「必要な時に」「必要なものが」「必要な数量」揃う時間帯別売場管理(売場の機能的価値)を基本としたうえで、ビジュアルに優れた売場、こだわり品の提案、POPを使った商品の情報提供やデジタルサイネージを活用した食材のおいしさが伝わる映像や食べ方提案動画の発信を行い、お客様の感情に訴える売場作り(売場の情緒的価値)を打ち出すごことで、よりお客様に満足かつ楽しんでいただける店舗作りを進めています。また、各地域や店舗の特性に対応するための経営マネジメント改革として、販売促進を含む営業戦略と経費管理を店長が計画する、店長による店舗経営管理体制を一部店舗から導入しました。このような施策により、商品力、売場力、接客力の総合的な面で「マルヨシクオリティー」をもう一段階引き上げる取り組みを行っております。これら施策を強力に取り入れた四国戦略の第一号店として三加茂店(徳島県三好郡)を2024年11月に改装オープンし、当初の計画を上回り好調に推移しております。更に四国戦略を推し進める第二号店として椿店(愛媛県松山市)を本年7月4日に改装オープンいたしました。一方で、本年3月31日に賃貸借契約の満了に伴い片原町店(香川県高松市)を閉店いたしました。

また、製造商品の選択と集中による製造効率の向上および新しい製造機器への投資による生産性の引上げの取り組みを継続するとともに、2024年6月より本格稼働となった(株)イズミとのシステム、仕入、物流の統合により、仕入れ原価の低減、効率化によるコスト削減、物流体制の整備を実現し、利益拡大を図るとともにお客様へのサービス品質を高めてまいります。

一方、継続する電力料金の高騰への対応として、昨年に引き続き、計画的な冷蔵庫の入れ替えなど積極的な省エネ投資による電気使用量の削減を進めます。また、最低賃金の引上げに伴うパート時給のアップや困窮する人材確保を背景とした人件費の増加については、優先順位を強く意識した業務の選択による作業改善、作業シフトの見直しによる必要な人員を必要な時間帯に配置することで生産性の改善を図り、人員不足への対応と一人当たりの荒利高の引上げを目指します。

このような取り組みの結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高は店舗力のアップに加え物価上昇に伴う品単価の上昇もあり203億47百万円(前年同期比4.1%増)と増加。当子会社の(株)フレッシュデポ(香川県綾歌郡多津町)の麺ライスを停止している影響で麺製品群が販売できなかったことに加え、仕入原価の上昇に合わせた販売価格の引上げは難しく、売上総利益を高めに、また、(株)イズミとのシステム統合におけるオペレーションの変更に伴う販売費及び一般管理費の増加などの課題はありますが、売上高の増加に伴う営業利益は1億16百万円(前年同期比224.3%増)、経常利益は1億6百万円(前年同期比217.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は43百万円(前年同期は11百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

2025年11月

「トキメキつばき」最高の「わくわく・ドキドキ」を椿店で

# 椿店がリニューアルOPENしました

マルヨシセンターの「四国戦略」\*第2号店として、愛媛県松山市のマルヨシセンター椿店を装いも新たにリニューアルオープンしました。これからもより魅力的で地域の皆さまから愛されるお店を目指してまいります。

\*「四国戦略」とは、個々の店舗がその地域におけるシェアを拡大するために、店長による強いマネジメント力と高い経営管理力を発揮して個店経営を実践する戦略。



## マルヨシクオリティー



マルヨシクオリティーをレジ上大型デジタルサイネージでアピール。商品の味・品質・鮮度へのこだわりに加えて、接客・ホスピタリティ、売場の機能的・情緒的価値も追求し、お客様にご満足いただける総合的に質の高い店舗づくりを目指しています。



「わくわく・ドキドキ」

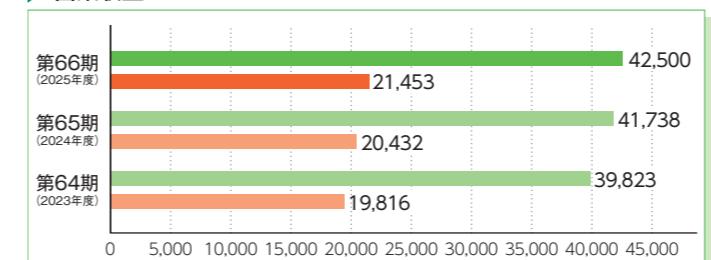


### マルヨシクオリティー商品がラインアップ

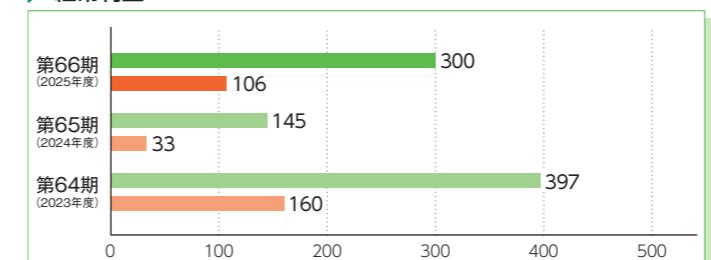


オリジナルBOX 生豆腐 (きぬ・もめん) 国産牛 (文種) モモ (イチボ) 瀬戸のあら塩を使った塩さば

▶ 営業収益

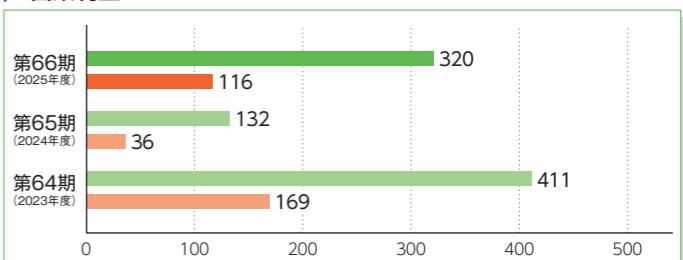


▶ 経常利益

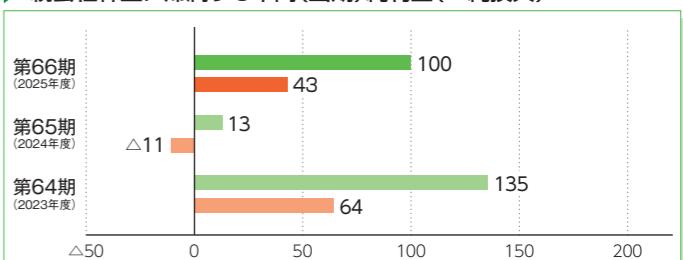


▶ 営業利益

▶ 営業利益



▶ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(△純損失)



(注) 第66期通期については、予想数値であります。

## 連結財務諸表 (要約)

▶ 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	当中期連結会計期間末 (2025年8月31日現在)	前期末 (2025年2月28日現在)
<strong>資産の部</strong>		
流動資産	3,923,643	3,070,406
固定資産	13,220,614	13,127,242
有形固定資産	10,955,931	10,883,727
無形固定資産	601,035	620,109
投資その他の資産	1,663,647	1,623,405
繰延資産	1,093	1,562
<strong>資産合計</strong>	<strong>17,145,351</strong>	<strong>16,199,211</strong>
<strong>負債の部</strong>		
流動負債	7,997,908	6,611,047
固定負債	5,839,873	6,355,277
<strong>負債合計</strong>	<strong>13,837,782</strong>	<strong>12,966,325</strong>
<strong>純資産の部</strong>		
株主資本	3,024,883	3,009,713
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	517,745	517,745
利益剰余金	1,429,724	1,414,553
自己株式	△ 584	△ 584
その他の包括利益累計額	27,215	△ 12,858
その他有価証券評価差額金	54,712	15,512
退職給付に係る調整累計額	△ 27,496	△ 28,370
非支配株主持分	255,469	236,030
<strong>純資産合計</strong>	<strong>3,307,569</strong>	<strong>3,232,885</strong>
<strong>負債及び純資産合計</strong>	<strong>17,145,351</strong>	<strong>16,199,211</strong>

▶ 中間連結損益計算書

(単位: 千円)

科 目	当中期連結会計期間 (2025年3月1日から 2025年8月31日まで)	前中期連結会計期間 (2024年3月1日から 2024年8月31日まで)
売上高	20,347,206	19,545,525
売上原価	15,674,111	14,937,859
売上総利益	4,673,095	4,607,665
その他営業収入	1,106,228	886,624
営業総利益	5,779,324	5,494,290
販売費及び一般管理費	5,662,438	5,458,250
営業利益	116,885	36,040
営業外収益	19,630	23,693
営業外費用	29,759	26,148
経常利益	106,756	33,585
特別利益	1,283	9,747
特別損失	8,712	12,877
税金等調整前中間純利益	99,327	30,456
法人税、住民税及び事業税	44,217	36,689
法人税等調整額	△ 7,423	△ 9,104
中間純利益	62,533	2,870
非支配株主に帰属する中間純利益	19,317	14,141
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	43,215	△ 11,270

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。